

令和3年度

岩脇小学校

「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標（案）

- 自分の考えを進んで説明しようとする表現力の育成
- 学習の流れが分かる板書とノート指導の取り組み

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員：尾川和人（校長）・磯部茂仁（教頭）・折野美穂（教務・1年）・久米田芳江（特別支援）・入口和美（研修・3年）・森下淳子（学力向上・6年）

校長

尾川 和人 印

【各校の取組状況の把握について】

○次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

研究授業(大研・小研)や職員研修等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>(1)知識・技能の習得</p> <p>○漢字の読み書きや簡単な計算は、おおむね習得できている。</p> <p>●空間図形や量と測定の領域に苦手意識を持つ児童や書くことに抵抗感がある児童が見られる。</p>	<p>・基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、自主学習ノートや作文・日記に進んで活用できる。</p> <p>・習得した知識をもとに課題解決に対する見通しを持つとともに、自分の考えを図や文章に進んで表現できる。</p>	<p>・朝の活動や授業の導入を利用して漢字や計算などの基礎的・基本的な力の定着を図る。</p> <p>・テーマ日記・読書日記や行事作文に取り組みせ、発達段階に即した漢字の習得や表現の仕方の定着を図る。</p> <p>・課題や条件に合わせてノートに学習のまとめをさせ、適切に表現する力を身につけさせる。</p> <p>・タブレット等のICTを活用し、視覚的に支援することで多面的に思考したり理解を深めたりできるようにする。</p>			
<p>(2)思考力・判断力・表現力等の育成</p> <p>○自分の考えを表現しようとする児童が増えつつあり、発表の方法や手順がわかると意欲的に学習に取り組むことができる。</p> <p>●語彙が少なく、課題や目的に応じて聞き取ったり、他人の意見と自分の考えを比べたりする力が不十分である。</p>	<p>・課題や目的に応じて筋道を立てて考え、理由や根拠を明らかにして、自分の考えを進んで表現し、課題解決できる。</p> <p>・目的に応じて5W1Hを意識した表現ができる。</p> <p>・聞く態度を身につけるとともに、ポイントを明確にして聞いたり話したりすることができる。</p>	<p>・教材や発問を工夫し、筋道を立てて考えられるようにする。</p> <p>・板書の構造化を図り、めあて・思考・まとめのノート指導をする。</p> <p>・ペアトーク・グループ討論・ディベート・ホワイトボードミーティング等の学習活動を効果的に取り入れる。</p> <p>・タブレットを活用し、効率よく意見を発信させたり友達の考えに触れたりする機会を適切に設ける。</p>			
<p>(3)主体的に学習に取り組む態度の育成</p> <p>○家庭学習や基本的生活習慣は定着している児童が多く、与えられた課題については、最後まで取り組む。</p> <p>●自分から進んで課題を見つけて取り組むことが苦手で、家庭での読書時間も少ない。</p>	<p>・家庭学習では進んで課題に取り組み、苦手な課題にも根気よく取り組むことができる。</p> <p>・家庭でも進んで読書をしたり、興味・関心を持って新聞を読んだりして、社会の動向に関心を持つことができる。</p>	<p>・自主学習ノートにめあてや感想を書くことで課題設定を明確にさせ、内容が充実しているものについて例を紹介する。</p> <p>・休日を親子読書の日と設定したり、読書カードやおすすすめの本紹介の機会を効果的に取り入れたりする。</p> <p>・新聞切り抜き・新聞感想文コンクールに応募する。</p>			

令和3年度 学力向上ロードマップ



